

Neues in Nara

Nr.46

2014年1月20日

Japanisch-Deutsche Gesellschaft Nara (JDG-Nara)

奈良日独協会 (会長 河野良文) 奈良市大安寺 2-18-1 大安寺内

Tel/0742-61-6312, Fax/0742-61-0473

<http://www.daianji.or/jdgn/index.html>

編集委員：林 (hayashi@mercury.sannet.ne.jp) 峯本 (hmine-24@m3.kcn.ne.jp)



“これは会員相互のコミュニケーションツールです。皆様からの情報は編集委員へ”

●行事予定

第4回シュタムティッシュ

日時：2月9日(日)15時～約1時間

場所：大安寺催事棟

講師に会員の渡辺清さんをお招きして、「東西両ドイツ統一時の状況」をテーマにお話頂きます。多くの会員の皆様のご参加をお待ちしています(詳細、別途案内済み)。

●行事報告

1. クリスマス会

奈良日独協会恒例のクリスマス会は12月8日、和ダイニング「花小路」にて開催。大阪神戸総領事館フローリアン・イエーガー領事をお招きし、41名の参加者でにぎわった。会は奈良女子大学外国人教師トーマス・ハックナーさんの講演「日本研究」で始まり、飛び入りも出て盛り上がるなか新入会員の方々から次々と入会の動機が披露され、会の一層の発展が期された。懇親会の輪は留学生と大学生の若さでますます華やき、フィナーレはイエーガー領事を囲んで全員が、ドイツの歌・日本の歌を合唱、楽しい夕べを満喫した。



2. 第3回シュタムティッシュ

11月3日、学園祭に合わせて奈良女子大学で開催、ドイツ映画を鑑賞した。参加者12名。



3. 元ドイツ連邦議会議員エリカ・シュツハルト女史来奈

同女史は11月22日、河野会長・八木理事の案内で晩秋の奈良を楽しみ、再開を期して離日された。

4. 近畿地区日独協会新年会 (幹事：大阪日独協会)

1月11日、アサヒスーパードライ梅田で開催。約50名参加。奈良から土屋・豊住・加納・林の各氏が参加し、情報交換と友好を深めるよい機会となった。

●会員だより

会員の亀井明子さんから留学先のオーストリアから頂きました。

「昨年9月から、奈良女子大学の交換留学制度を利用して、オーストリアのグラーツ大学に留学しています。しばし日本の大学を離れて、新たな視点から研究の進め方を見つめなおすことが滞在の目的です。こちらの学生はどのように学位論文を執筆していくのか参考にさせてもらおうと思い、軽い気持ちで学位取得を目指すゼミに顔を出してみたのですが、そのゼミは今では私の留學生活の中核を占めることとなりました。毎週行われる発表を通じて多くの発見があるばかりか、研究の方向性を見極めきれずにいた私に、ゼミの指導教授は背中を押して励ましてくれました。そのおかげで私もすでに一度ゼミでの発表をする機会に恵まれました。今は2月にある次の発表に向けて精一杯の準備を進めているところです。思いがけなく参加することとなったゼミでの貴重な出会いに感謝しています。

この4ヶ月の間、他にも多くの方々との出会いがありました。なかでも、長年グラーツに住むフェルナー・真理子さんとの出会いは、かけがえのないものとなりました。

フェルナーさんは、オーストリア国家公認ガイドの資格をシュタイアーマルク州で取得した日本人第一号です。またグラーツ大学や高校での日本語教育にも携わっておられます。フェルナーさんは日本からの旅行者や長期滞在者をいつも暖かく迎えてくださいます。色々ご苦労もされたはずですが、いつも前向きなそのお姿を拝見していると、私まで元気になってしまいます。いわゆる国際交流に、仕事として求められる範囲を超えて献身しておられるからだと思います。私もいつの日か、何らかのかたちで、ドイツやオーストリアと日本の架け橋になればと思っています。」



●新入会員

竹村照雄さんが入会されました。

●訃報 当会副会長として奈良日独協会の発展に尽くされた近東宏光さんが、昨年12月20日逝去されました。ここに謹んでお悔やみ申し上げます。

